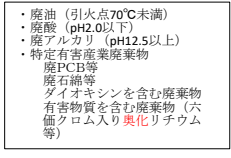
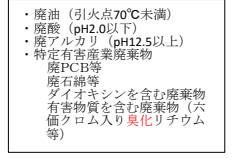
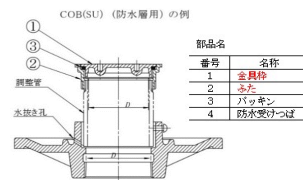
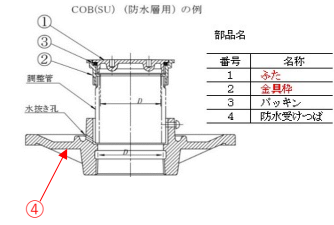


機械設備工事監理指針 令和7年版 1刷 正誤表

頁	編	章	節	項	項細	誤	正	備考	更新日
30	1	1	1	3		表1.1.1 主な官公署への申請手続き一覧表(6/6) 区分騒音振動 《騒音報》7条	表1.1.1 主な官公署への申請手続き一覧表(6/6) 区分騒音振動 《騒音法》7条		R8/3/30
37	1	1	1	14		なお、「遠隔臨場に関する実施要領」は国土交通省ホームページに掲載されているので活用するとよい。	なお、「官庁営繕事業の建設現場における遠隔臨場に関する実施要領」は国土交通省ホームページに掲載されているので活用するとよい。		R8/3/30
38	1	1	2	1		(d) 契約図書に「概成工期」(「標仕」第1編1.1.2(用語の定義)(ナ)参照)として明示されている場合には、実施工程表に概成工期の明記が必要となる。	(d) 契約図書に「概成工期」(「標仕」第1編1.1.2(用語の定義)(ナ)参照)として明示されている場合には、実施工程表に概成工期のほか、必要に応じ受電日及び総合試運転調整期間の明記が必要となる。また、工事の進捗に伴い週間工程表、月間工程表、工種別工程表などにも上記内容を記載し関連工事間で共有するとよい。		R8/3/30
44	1	1	3	1		表1.3.1 建設業法における技術者制度 指定建設業 建設業の許可制度 一般 工事現場の元請工事に 4,000万円 ^{注1)} における下請 以上は契約で金額合計 けない	表1.3.1 建設業法における技術者制度 指定建設業 建設業の許可制度 一般 工事現場の元請工事に 5,000万円 ^{注1)} における下請 以上は契約で金額合計 けない		R8/3/30
56	1	1	3	8		(a)・・・明示した条件のもとに工事の指導に当たる。 「土壌汚染対策法・・・	(a)・・・明示した条件のもとに工事の指導に当たる。 プラスチックにかかる資源循環の促進等に関する法律(令和3年法律第60号)では、プラスチックが使用されている製品の資源循環を促進するため、製品の使用の合理化(減量化や再利用)、製品の原材料を再生素材や再生可能資源へ切り替えること、生じた廃棄物を徹底的にリサイクルすることを求めている。この中で、プラスチック廃棄物は、従来は熱回収により処理されることが多かったが、資源の有効利用の観点から、できる限り材料へのリサイクル(マテリアルリサイクル)や化学的分解による原料へのリサイクル(ケミカルリサイクル)に努めることが規定されている。 機械設備工事においても、可能な限り、次の対応を行うこととなる。 ・プラスチック製品の使用を抑制して廃棄物の排出削減に努める (梱包材や養生材の削減、リサイクル容器への変更、別の素材への変更等) ・発生した廃棄物を適切に分別して再資源化に努める (樹脂ごと、品目ごとに分別することで、材料や原料へのリサイクルに努める等) ・再資源化できないものは熱回収へ排出する。 「土壌汚染対策法・・・		R8/3/30
58	1	1	3	9		図1.3.8 建設副産物の種類と具体例 	図1.3.8 建設副産物の種類と具体例 		R8/3/30 R8/6/8
66	1	1	4	2		(c)・・・なお、品質性能を証明する資料の整備は、受注者が「標仕」第1編1.4.5(機材の検査等)の(1)に規定する監督職員の検査を・・・にさせる。	(c)・・・なお、品質性能を証明する資料の整備は、受注者が「標仕」第1編1.4.4(機材の検査等)の(1)に規定する監督職員の検査を・・・にさせる。		R7/11/6
85	2	1	2	2		(b) 表示及びブザー (2) 各種表示等は、「標仕」第2編表 2.1.7(表示等)により設ける。	(b) 表示及びブザー (2) 各種表示等は、「標仕」第2編表 2.1.3~5(表示項目等)により設ける。		R7/11/6
87	2	1	2	2		(c) 入力端子及び出力端子 (2) エネルギー管理用の運転情報出力端子・・・情報(エネルギー管理用運転情報)出力端子を表1.2.7に示す。	(c) 入力端子及び出力端子 (2) エネルギー管理用の運転情報出力端子・・・情報(エネルギー管理用運転情報)出力端子を表1.2.2に示す。		R7/11/6
88	2	1	2	2		(d) 過負荷及び欠相保護装置 (1)・・・及び進相コンデンサーが無電圧・・・	(d) 過負荷及び欠相保護装置 (1)・・・及び進相コンデンサーが無電圧・・・		R8/3/30

99	2	2	1	2		表2.1.1 設備工事に使用される管及び接手 (2/10) ポリ粉体鋼管 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (JWWA K 132:2015 ・・・のもの (PA)、黒管の外面に垂鉛め つきを施したものを (PB)、PA の・・・	表2.1.1 設備工事に使用される管及び接手 (2/10) ポリ粉体鋼管 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (JWWA K 132:2015 ・・・のもの (PA)、黒管の外面に垂鉛め つきを施したものを (PB)、PA の・・・		R8/3/30
194	2	2	4	8		(2) ユニット形空調機、・・・ここで、 落差とは、封水が切れない深さを確保する ことで逆流しないための水深を意味する。	(2) ユニット形空調機、・・・ここで、 落差とは、封水が切れない深さを確保する ことで逆流しないための水深を意味する。		R7/11/6
226	[参 考]					「改修標仕」でJCDA0012:2021:2022・・・が 規定されているため、	「改修標仕」でJCDA0012:2022・・・が規定さ れているため、		R8/3/30
254	2	2	6	1		表2.6.1 配管の勾配の例 (注記) 蒸気管、排水・通気管の勾配は、 「標仕」第2編2.6.2勾配による。	表2.6.1 配管の勾配の例 (注記) 蒸気管、排水・通気管の勾配は、 「標仕」第2編2.6.1勾配による。		R8/3/30 R8/6/8
306	2	3	1	5		(b) (3) 厨房用排気ダクトの保温は、特記による。 蒸気や熱を使用している施工箇所、冬期暖房を 行う室及びその天井内の外気取入れ用ダクトや 外壁から1～2 m間の排気ダクト等は防露が 必要な場合があるので注意する。	(b) (3) 厨房用排気ダクトの保温は、特記による。 (4) 「標仕」第2編 3.1.4.1一般事項(3) (オ) 「空調している建物内の遠りダクト」とは、建 物が空調されていれば、遠りダクトが非空調部 にあっても保温を施す必要はないということ である。また、この場合の「空調」とは暖房のみ 又は冷房のみを含む。		R8/3/30
347	3	1	1	1	2	(c) (3) (i) (3) (d) ハイ・ロー・オフ制御式 Lowダンパは低燃焼量に応じた開度となる。	(c) (3) (3) (d) ハイ・ロー・オフ制御式 Lowダンパーは低燃焼量に応じた開度となる。		R8/3/30
349	3	1	1	1		図1.1.3 油・ガス混焼式又は油・ガス切替式 バーナーの例 図中 ガスストレーナ オイルストレーナ	図1.1.3 油・ガス混焼式又は油・ガス切替式 バーナーの例 図中 ガスストレーナ オイルストレーナ		R8/3/30
354	3	1	1	5		「標仕」において、・・・。 また、操作装置は自動式と手動式がある が、・・・	「標仕」において、・・・。 また、運転方式は自動式と手動式がある が、・・・		R7/11/19
369	3	1	3	0		表1.3.6 冷凍機の「標仕」適用一覧と製品範 囲 () 内数値は概略の目安を示す。 チリングユニット 空気熱源ヒートポンプユニット スクリュウ冷凍機	表1.3.6 冷凍機の「標仕」適用一覧と製品範 囲 () 内数値は概略の目安を示す。 空気熱源ヒートポンプユニット 水冷チリングユニット スクリュウ冷凍機	別図による	R7/11/6
371	3	1	3	1		・・・使用者と設置場所の都道府県の窓口又は 基礎自治体の消防の窓口にて協議が必要であ る。	・・・使用者と設置場所の都道府県の窓口又は 地方公共団体の消防の窓口にて協議が必要であ る。		R8/3/30
373	3	1	3	1		(g) 附 属 品 (1) 圧 力 計 「標仕」では、冷凍能力が60kW未満のもの、制 御盤にて容易に圧力確認する機能を・・・	(g) 附 属 品 (1) 圧 力 計 「標仕」では、法定冷凍トン50トン未満のもの で、制御盤にて容易に圧力確認する機能 を・・・		R7/11/6
379	3	1	3	5		(f) 容量制御装置 ・・・に制御する。 また、制御方法は、オン・オフ制御、段階制御 又は比例制御があり、比例制御の場合は能力 100～10% (吸収冷水機は30%) まで、それ 以下はオン・オフ制御とする。	(f) 容量制御装置 ・・・に制御する。 また、制御方法は、オン・オフ制御、段階制御 又は比例制御があり、比例制御の場合は能力 100～30%まで、それ以下はオン・オフ制御と する。		R7/11/19
404	3	1	5	1		(a) 「標仕」適用区分 「標仕」では、圧縮機用電動機出力11kWを超 えるものについて規定している。	(a) 「標仕」適用区分 「標仕」では、定格冷却能力が60kW以上につ いて規定している。		R7/11/6
407	3	1	5	11		5試験 表2 温度条件 日量能力試験の蒸発器入口側の欄 乾球温度 湿球温度 25±1 25±1 (蓄熱時) (蓄熱時) 35±1 32±1 (冷却時) (冷却時)	5試験 表2 温度条件 日量能力試験の蒸発器入口側の欄 乾球温度 湿球温度 2±1 1±1 (蓄熱時) (蓄熱時) 7±1 6±1 (加熱時) (加熱時)		R8/3/30
421	3	1	7	3		(c) ケーシング、加湿器、ドレンパン、送風 機、保温、たわみ継手については、「標仕」第 3編 1.7.1 (ユニット形空調機) の当該事 項と規定している。	(c) ケーシング、加湿器、ドレンパン、送風 機、保温、たわみ継手については、「標仕」第 3編 1.7.1 (ユニット形空調機) の当該事 項と規定している。		R8/3/30
434	3	1	8	0		(a) フィルターの種類 表1.8.2 フィルターの種類 種類 中性能 (中) フィルター	(a) フィルターの種類 表1.8.2 フィルターの種類 種類 中性能フィルター		R7/11/6

434	3	1	8	0	(a) フィルターの種類 表1.8.2 フィルターの種類 種類 クラス分類 高性能エア フィルター HEPA HPA	(a) フィルターの種類 表1.8.2 フィルターの種類 種類 クラス分類 高性能エア フィルター EPA HEPA ULPA			R7/11/19																														
435	3	1	8	2	(a) 表1.8.3 折込み形フィルターの形式等 形式 HEPA	(a) 表1.8.3 折込み形フィルターの形式等 形式 HEPA			R8/3/30																														
438	3	1	8	5	(a) (2) 電気集じん器 (パネル形) - 寸法は、1.8.1 パネル形エアフィルターによる。 非再生式 (特記)	(a) (2) 電気集じん器 (パネル形) - 寸法は、1.8.1 パネル形エアフィルターによる。 再生式又は非再生式 (特記)			R7/11/6																														
463	3	1	13	6	(c) 施工60 (密閉形隔膜式膨張タンク廻り配管要 領) の要領で必ず設置する。	(c) 施工63 (密閉形隔膜式膨張タンク廻り配管要 領) の要領で必ず設置する。			R7/11/19																														
466	3	1	13	10	また、・・・か、冷温水ヘッダーは、JIS H 0410:2021 (溶融亜鉛めっき試験方法) によ り、亜鉛めっきの付着量を試験するよう規定さ れている。	また、・・・か、冷温水ヘッダーは、JIS H 0401:2021 (溶融亜鉛めっき試験方法) によ り、亜鉛めっきの膜厚または付着量を試験する よう規定されている。			R8/3/30																														
469	3	1	14	3	1 (2) ダクトの継目は次による。 (ii) ボタンパンチスナップはぜ ・・・作業現場に持現場に持ち込むこともでき るので、・・・	(2) ダクトの継目は次による。 (ii) ボタンパンチスナップはぜ ・・・作業現場に持ち込むこともでき るので、・・・			R8/3/30																														
496	3	2	1	2	(b) 鋼製ボイラー (1) 施工図の検討 (iv)・・・なお、「標仕」では、ボイラーの基 礎は運転時における全体質量の3倍以上の長期 荷重に耐えられる基盤上又は構造計算で安全が 確認された基盤上に築造すると規定されてい る。	(b) 鋼製ボイラー (1) 施工図の検討 (iv)・・・なお、「標仕」では、ボイラーの基 礎は構造計算で安全が確認された基盤上に築造 すると規定されている。			R7/11/6																														
501	3	2	1	7	(a) 施工図の検討 (3)・・・「標仕」では冷凍機の基礎は運転時 における全体質量の3倍以上の長期荷重に耐え うる基盤上又は構造計算で安全が確認された基 盤上に築造する。	(a) 施工図の検討 (3)・・・「標仕」では冷凍機の基礎は構造計 算で安全が確認された基盤上に築造する。			R7/11/6																														
507	3	2	1	11	(5) トラップ封水の深さと送風機の全静圧との 関係は適正か (第2編 第2章 第4節 表2.4.2 (空気調和機排水トラップ要領) 参照)。	(5) トラップ封水の深さと送風機の全静圧との 関係は適正か (第2編 第2章 第4節 表2.4.3 (空気調和機排水トラップ要領) 参照)。			R7/11/6																														
523	3	2	2	3	(b) スパイラルダクトの接合 (2) フランジ接合 (i)・・・スポット溶接とする場合は、 1.4.3.1(c)(5)による。・・・	(b) スパイラルダクトの接合 (2) フランジ接合 (i)・・・スポット溶接とする場合は、 1.14.3.1(c)(5)による。・・・			R8/3/30																														
534	4	1	2	1	表 1.2.1 デジタル式・電子式用検出部の外 観と構成要素例 <table border="1" data-bbox="542 1288 901 1422"> <tr> <td></td> <td>室内形 (温度検出)</td> <td>挿入形 (温度検出)</td> <td>挿入形 (圧力)</td> <td>挿入形 (気流)</td> </tr> <tr> <td>外観例</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構成要素</td> <td>温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子</td> <td>温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子</td> <td>ダイヤフラム、半導 体</td> <td>電磁流量計</td> </tr> </table>		室内形 (温度検出)	挿入形 (温度検出)	挿入形 (圧力)	挿入形 (気流)	外観例					構成要素	温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子	温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子	ダイヤフラム、半導 体	電磁流量計	表 1.2.1 デジタル式・電子式用検出部の外 観と構成要素例 <table border="1" data-bbox="909 1288 1268 1422"> <tr> <td></td> <td>室内形 (温度検出)</td> <td>挿入形 (温度検出)</td> <td>挿入形 (圧力)</td> <td>挿入形 (気流)</td> </tr> <tr> <td>外観例</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構成要素</td> <td>温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子</td> <td>温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子</td> <td>ダイヤフラム、半導 体</td> <td>電磁流量計</td> </tr> </table>		室内形 (温度検出)	挿入形 (温度検出)	挿入形 (圧力)	挿入形 (気流)	外観例					構成要素	温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子	温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子	ダイヤフラム、半導 体	電磁流量計	赤四角内の 図入替		R8/3/30
	室内形 (温度検出)	挿入形 (温度検出)	挿入形 (圧力)	挿入形 (気流)																																			
外観例																																							
構成要素	温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子	温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子	ダイヤフラム、半導 体	電磁流量計																																			
	室内形 (温度検出)	挿入形 (温度検出)	挿入形 (圧力)	挿入形 (気流)																																			
外観例																																							
構成要素	温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子	温度: 温度検出部 湿度: 湿度計素子	ダイヤフラム、半導 体	電磁流量計																																			
539	4	1	3	3	(a) 屋内用キャビネット (1)・・・高耐 食溶融めっき鋼板 (亜鉛-アルミニウム、-マグ ネシウムなど含有) がある。・・・	(a) 屋内用キャビネット (1)・・・高耐 食溶融めっき鋼板 (亜鉛、アルミニウム、マグ ネシウムを含有) がある。・・・			R8/3/30																														
590	4	2	4	2	(b) (2) 積算点については、現場計量機器の発信器 のバルスレート (1/バルス当たりの単位量) ・ 乗率・単位など・・・	(b) (2) 積算点については、現場計量機器の発信器 のバルスウェート (1/バルス当たりの単位 量) ・乗率・単位など・・・			R8/3/30																														
600	5	1	1	2	(a) 大便器 (3) 大便器 I 形・II 形 ・・・、1回の洗浄操作における排出量を言 う。洗浄弁の場合は、・・・ 洗浄弁式の場合は、・・・で、製造業者公称水 量となるように調整した時の排出量をいう。 専用洗浄弁方式の場合は、・・・、1回の洗 浄操作における排出量をいう。	(a) 大便器 (3) 大便器 I 形・II 形 ・・・、1回の洗浄操作における排出される 水の量を言う。洗浄弁の場合は、・・・ 洗浄弁式の場合は、・・・で、製造業者公称水 量となるように調整した時の排出される水の量 をいう。 専用洗浄弁方式の場合は、・・・、1回の洗 浄操作における排出される水の量を言う。			R7/11/6 R7/11/7 R7/11/19 R8/3/30																														
602	5	1	1	3	(b) 材 料 (2) 保 温 材 ・・・、排水管がビニル管の場合・・・	(b) 材 料 (2) 保 温 材 ・・・、排水管が塩ビ管の場合・・・			R7/11/6 R7/11/7																														
609	5	1	1	8	1.1.8 大便器用洗浄弁	1.1.8 洗浄弁			R7/11/19 R8/6/8																														

621	5	1	2	7	(d) 主要部の材料 主要部の材料は、「標仕」及びJIS B 8325 : 2024 (設備排水用水中モータポンプ) に材料規定されているものとする。	(d) 主要部の材料 主要部の材料は、「標仕」及びJIS B 8325 : 2024 (設備排水用水中モータポンプ) に材料規定されているものとする。合成樹脂製とする場合の適用は特記による。 なお、「標仕」で規定されていない材料で、ポンプJIS B 8325で規定されている材料を使用した製品を採用する場合は、発注者、受注者間で十分な協議が必要である。	R7/11/19 R7/12/1 R8/6/8
630	5	1	3	8	・・・「標仕」第5編第2章 第2節2.2.1 (一般事項) (6)の規定・・・	・・・「標仕」第5編第2章 第2節2.2.1 (一般事項) (5)の規定・・・	R7/11/19
630	5	1	3	9	・・・従来の夏期、中間期、冬期、着霜期の各期COPでの性能表示から、年間効率の表示に変更された。	・・・従来の夏期、中間期、冬期、着霜期の各期COPでの性能表示から、年間加熱効率の表示に変更された。	R7/11/19
635	5	1	4	1	(e) タンクに設置するはしごには、はしご上部からの総落下距離が3mを超える場合に安全ガードを設ける。なお、安全ガードの設置は特記とする。	(e) タンクに設置するはしごに、安全ガードを設置する場合は特記とする。	R7/11/19
668	5	1	7	4			R7/11/6 R8/3/30
687	5	2	1	2	(a) 大便器 (1) 取付け寸法は、便房の大きさ、使用動作、給水様式等で多少の違いがある。	(a) 大便器 (1) 取付け寸法は、便房の大きさ、使用動作、給水様式等で多少の違いがある。 なお、節水形便器は洗浄水量が少量のため、つまり等が発生しないよう施工に注意する。	R7/11/19
712 713	6	2	2	1	表2.2.1 主な電気配線とガス設備との接近または交差の場合の離隔距離 表中のNo. 欄 ①～③	表2.2.1 主な電気配線とガス設備との接近または交差の場合の離隔距離 表中のNo. 欄 1～23	R7/11/6 R8/3/30
734	6	3	2	1	(a) 一般事項 なお、詳細については高圧ガス保安協会技術基準KHK S 0738 : 2019 (LPガス設備設置基準及び取扱要領) を参照のこと。	(a) 一般事項 なお、詳細については高圧ガス保安協会技術基準KHS 0738 : 2022 (液化石油ガス設備設置基準及び取扱要領) を参照のこと。	R7/11/6 R8/3/30
738	6	3	2	3	(a)・・・ガス容器廻り配管は、「標準図」施工73 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による。	(a)・・・ガス容器廻り配管は、「標準図」施工74 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による。	R8/3/30 R8/6/8
842	9	6	1	1	(d) 他工事との確認事項 (3) エスカレーター自動運転 ・・・、管理上の配慮等はJEAS-410C (標改06-02) (エスカレーター自動運転方式の標準) を参照のこと。	(d) 他工事との確認事項 (3) エスカレーター自動運転 ・・・、管理上の配慮等はJEAS-410D (標改25-02) (エスカレーター自動運転方式の標準) を参照のこと。	R8/3/30 R8/6/8
898	資料2	2	1	2	(d) 機器類の整備、その他 (2) 配管の整備 (ii) ストレーナ-の状態	(d) 機器類の整備、その他 (2) 配管の整備 (ii) ストレーナの状態	R8/3/30
921	資料5				(c) 労働災害に関する指標 (4) 労働損失日数 (iii) 一時全労働不能は、所定休日・・・	(c) 労働災害に関する指標 (4) 労働損失日数 (iii) 一時労働不能は、所定休日・・・	R8/3/30
926	資料6	6	1	4	表6.4.1自然冷媒の特性 オゾン 破壊係数 ODP	表6.4.2自然冷媒の特性 オゾン層 破壊係数 ODP	R7/11/6

(別図)

369頁 図1.3.6 冷凍機の「標仕」適用一覧と製品範囲 () 内数値は概略の目安を示す。

(誤)

表1.3.6 冷凍機の「標仕」適用一覧と製品範囲 () 内数値は概略の目安を示す。

機器	主な使用冷媒 ※1	区分	(定格冷房能力)			(冷凍能力)					
			14kW	22.4kW	28kW	45kW	186kW	280kW	(1,400kW)	(3,500kW)	(7,000kW)
							(US冷凍)	(80ト)	(400ト)	(1,000ト)	(2,000ト)
チリング ユニット	R134a	標仕	←----->								
	R407C	標仕	←----->								
	R410A	製品	●-----●								
空気熱源ヒート ポンプユニット	R134a	標仕	←----->								
	R407C	標仕	←----->								
	R410A	製品	●-----●								
遠心冷凍機	R134a	標仕	容量による規定なし、全機適用								
	R1234ze	製品						●-----●			
	R1234yf	製品							●-----●		
スクリー 冷凍機	R134a	標仕	←----->								
	R407C	製品				●-----●					
吸収冷凍機	-	標仕	容量による規定なし、全機適用								
	-	製品				●-----●					
吸収冷温水機	-	標仕	容量による規定なし、二重効用の全機適用								
	-	製品				●-----●					
吸収冷温水機 ユニット	-	標仕	←----->								
	-	製品				●-----●					
パッケージ形 空気調和機	R407C	標仕	←----->								
	R410A	製品	●-----●								
マルチ パッケージ形 空気調和機	R407C	標仕	←----->								
	R410A	製品	●-----●								
ガスエンジン ヒートポンプ式 空気調和機	R407C	標仕	←----->								
	R410A	製品				●-----●					
水蓄熱ユニット	-	標仕	←----->								
	-	製品				●-----●					

※1 一般的に使用されている冷媒を示す。

凡例	標仕適用	-----	製造者標準	----->	-----	未済
		-----	制御盤のみ適用	----->	-----	以下
		=====	「標仕」全体適用	----->	-----	以上
	製品範囲	●-----●	範囲は概略の目安を示します	----->	-----	を超える



(別図)

(正)

表1.3.6 冷凍機の「標仕」適用一覧と製品範囲 () 内数値は概略の目安を示す。

機 器	主な使用区分 ※1	区分	(定格冷房能力)				(冷凍能力)						
			14kW	22.4kW	28kW	45kW	60kW	186kW	280kW	(1,400ト)	(3,500ト)	(7,000ト)	
空気熱源ヒートポンプユニット	R134a R407C R410A R32	標仕	←-----→										
		製品	●-----●										
水冷チリングユニット	R134a R407C R410A R32	標仕	←-----→										
		製品	●-----●										
遠心冷凍機	R134a R1234ze R1234yf	標仕	容量による規定なし、全機適用										
		製品	●-----●										
スクリー冷凍機	R134a R407C R410A R32	標仕	「標仕」規定なし										
		製品	●-----●										
吸収冷凍機	—	標仕	容量による規定なし、全機適用										
		製品	●-----●										
吸収冷温水機	—	標仕	容量による規定なし、二重効用の全機適用										
		製品	●-----●										
吸収冷温水機ユニット	—	標仕	←-----→										
		製品	●-----●										
パッケージ形空気調和機	R407C R410A	標仕	←-----→										
		製品	●-----●										
マルチパッケージ形空気調和機	R407C R410A R32	標仕	←-----→										
		製品	●-----●										
ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	R407C R410A	標仕	←-----→										
		製品	●-----●										
氷蓄熱ユニット	—	標仕	←-----→										
		製品	●-----●										

※1 一般的に使用されている冷媒を示す。

凡 例	-----	製造者標準	-----→	未達
	-----	制御盤のみ適用	-----→	以下
	-----	「標仕」全体適用	←-----	以上
	-----		←-----	を超える
製品範囲	●-----●	範囲は概略の目安を示す		